

Express チェックアウト

インテグレーション概要

このガイドでは、EC サイトに Express チェックアウトを実装するために必要な基本情報とベストプラクティスのガイドラインを提供します。このガイドは、マーチャントを対象としており、より迅速、簡単で、直感的な支払いプロセスを構築することにより、売上を伸ばして顧客ロイヤルティを高めることができるオンラインショッピング体験を実現することをサポートします。

目次

[Express チェックアウトとは](#)

[Express チェックアウトのしくみ](#)

[最適な支払いフローの設計](#)

[実装のユースケース](#)

[Express チェックアウトボタンと PayPal マークの入手](#)

[ユースケース 1: 販売取引](#)

[Express チェックアウトによる取引の設定](#)

[Express チェックアウトによる取引の詳細の入手](#)

[Express チェックアウトによる取引の完了](#)

[ユースケース 2: 承認/回収](#)

[承認のユースケース例](#)

[ユースケース 3: 返金/取り消し](#)

[レスポンスコードの管理](#)

[実装のテスト](#)

[Express チェックアウトの実装の実稼働](#)

[サンプルコード](#)

[お使いのインターフェース](#)

[Express チェックアウトのサンプルコード](#)

参考資料

オンライン参照資料

注: 総合的な実装情報は[エクスプレス チェックアウトインテグレーションガイド](#)をご覧ください。

エクスプレス チェックアウトとは

エクスプレス チェックアウトは、PayPal アカウントやクレジットカードの使用を希望する買い手に、(PayPal アカウントにログインしてなくても) API ベースの実装によりシームレスな支払い体験を提供します。買い手は、PayPal で支払方法と配送情報を選択してからマーチャントの EC サイトに戻り、お買い物を完了します。エクスプレス チェックアウトでは、買い手はほんの数ステップで取引を完了できます。エクスプレス チェックアウトにより、注文の詳細、発送オプション、税額の合計など、取引の詳細が一括表示されますので、買い手が決済を途中で止める主な原因の一つを解消できます。エクスプレス チェックアウトは、お客さまの既存の決済ソリューションを補完し、以下のことを可能にします。

- クレジットカードや PayPal アカウントを使用した買い手からの支払いを受け付ける。
- 配送、請求、決済情報などを含む個人情報の再入力の必要をなくすことで、
- カゴ落ち率を減らす。
- 取引完了後も、顧客をお客さまの EC サイトに引き止める。

エクスプレス チェックアウトのしくみ

買い手は、PayPal のよりセキュアなサイトで、エクスプレス チェックアウトを使って支払いを行い、お客さまの EC サイトに戻って取引を完了します。買い手が買い物を完了すると、お客さまの EC サイトから PayPal に、支払いを請求する API がコールされます(顧客には見えません)。支払い取引が開始され、PayPal から買い手に、メールによる支払い受領書が送信されます。

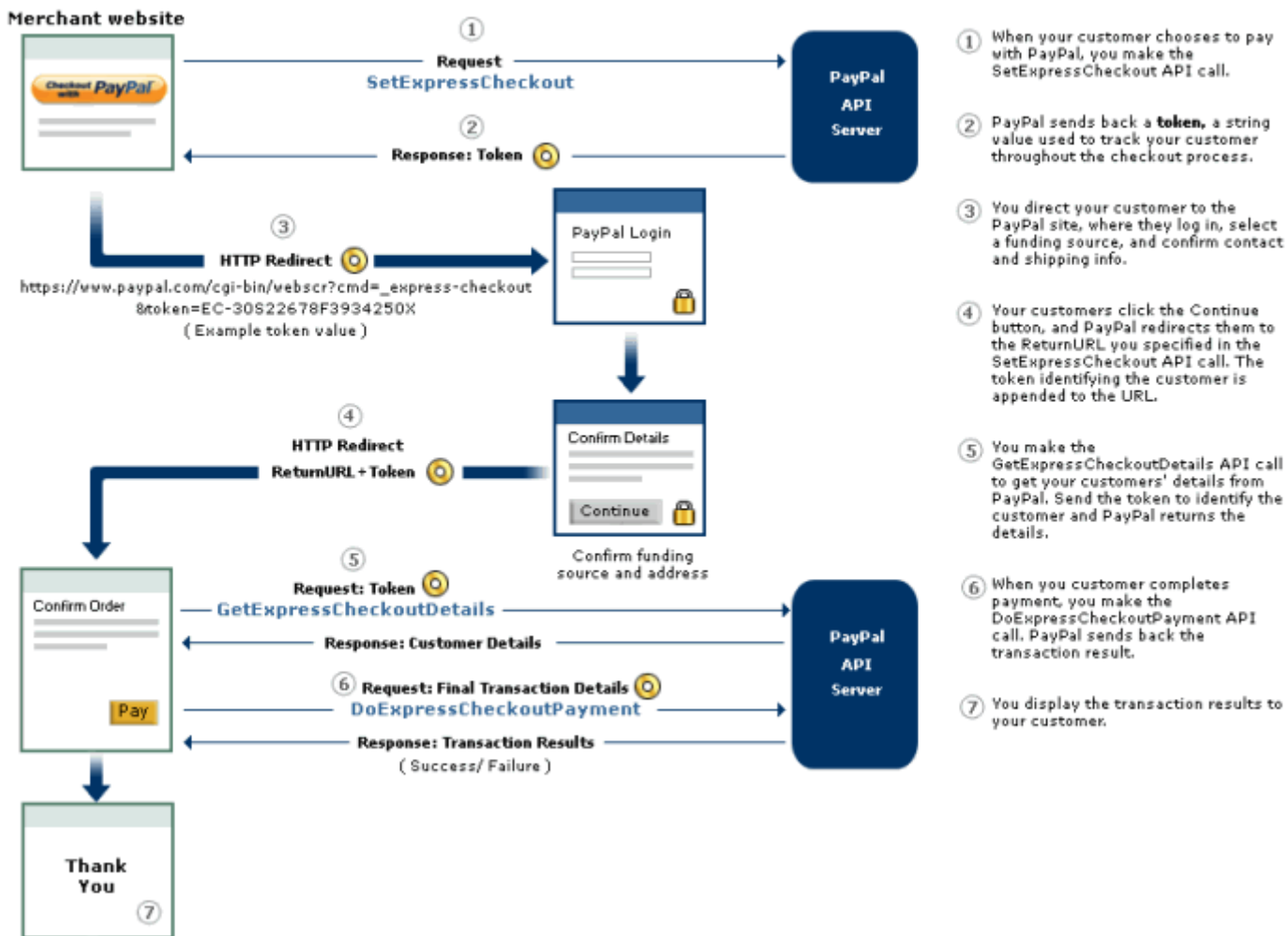


エクスプレス チェックアウト API コールフロー

下図は、典型的な支払い取引でコールされるエクスプレス チェックアウトの API オペレーションを示しています。実装の詳細は、[ユースケース 1: 販売取引](#)をご覧ください。

PayPal Express Checkout

Legend: Web Flow API Call Token



最適な支払いフローの設計

PayPal は、支払い体験を最適化し、PayPal エクスプレス チェックアウトを最大限に生かせる要素を特定しています。これらの要素は、長年にわたる A/B テスト、業界調査、マーチャントや買手の協力のもとで行った質的研究などから特定されました。これらのガイドラインを実施することにより、以下のことが可能になります。

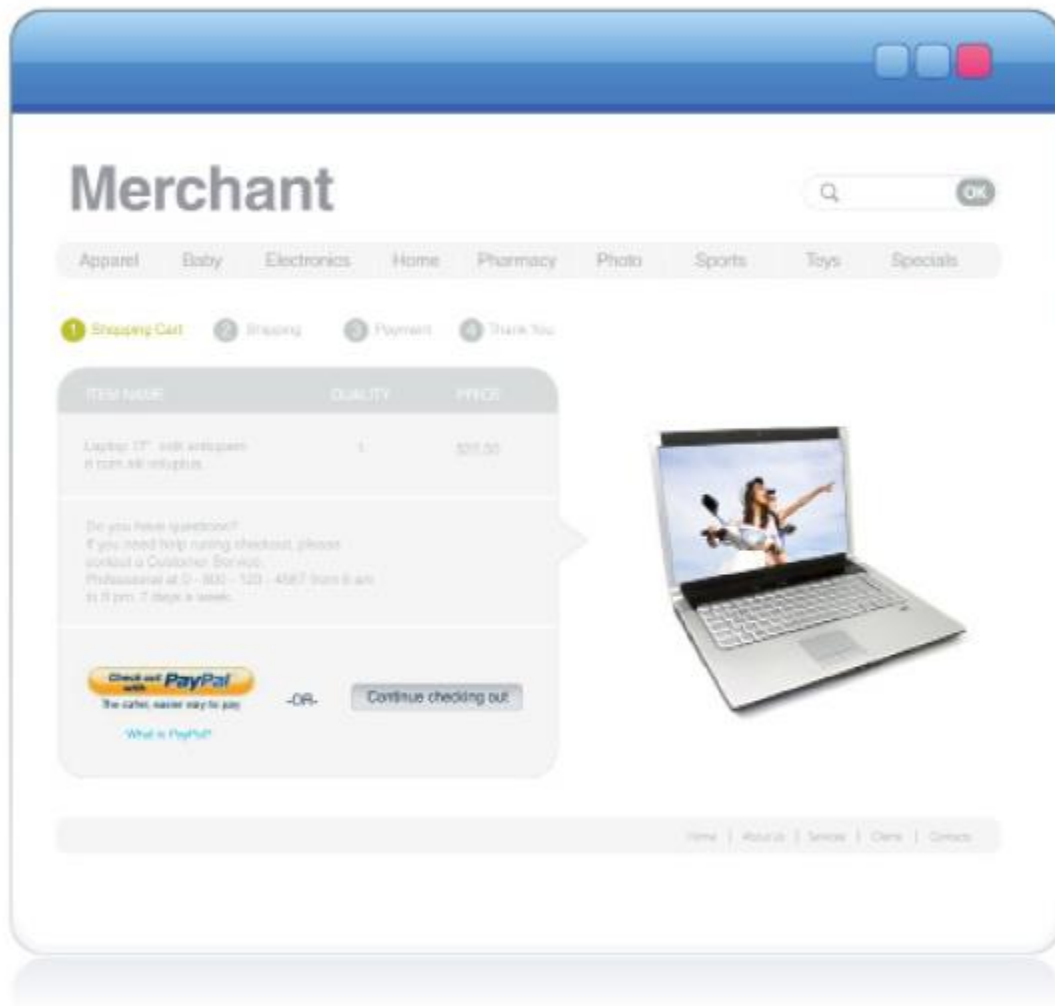
- セールスコンバージョン率を上げる。
- 売上を伸ばし、顧客ロイヤルティを高めることができるオンラインショッピングの体験を創出する。
- より迅速、簡単で、直感的な支払いプロセスを構築する。

以下の簡単なステップにより、チェックアウトフローを最適化し、買い手の体験を向上させることでコンバージョン率を上げることができます。

1. **ホームページおよび商品説明ページに支払いオプションを表示します。** 買い手は、支払い手続きの最終ページが表示されるより前に、買い物代金の支払方法を考え始めます。支払いに関するメッセージを早期かつ頻繁に伝えると、買い手はその支払いをより早い段階で選択するので、購入の可能性を高めることができます。



2. **エクスプレス チェックアウトのショートカットを、ショッピングカートページの支払いボタンの左右上下のいずれかの位置に追加します。**



[Checkout with PayPal](PayPal でチェックアウト)ボタンは以下のようにする必要があります。

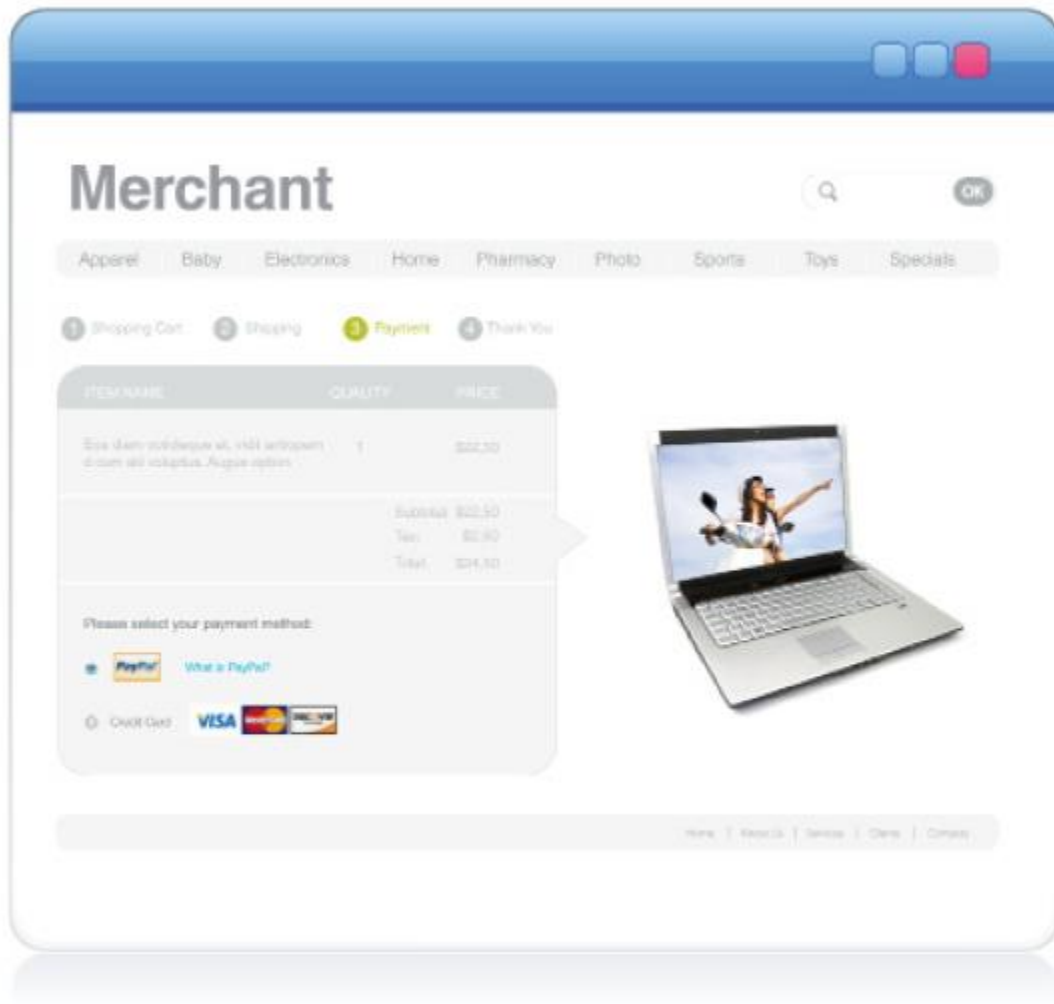
- いつでもクリックできる。
- お客さまのカードの各支払いボタンの下または横に配置する。
- お客さまの EC サイトが請求先または配送先の詳細情報を収集する前、またはその他の支払いが行われる前に表示される。
- お客さまのボタンと縦または横に並んでいる。
- [PayPal とは][PayPal とは]リンクを含んでいる。

買い手が PayPal ボタンをクリックすると、以下の処理が行われます。

- 取引を開始する `SetExpressCheckout` API リクエストがコールされます。実装の詳細は、[エクスプレスチェックアウトによる取引の設定](#)をご覧ください。

- `SetExpressCheckout` API レスポンスを受信すると、顧客は PayPal にリダイレクトされます。

3. **お客さまの支払方法ページのその他の支払いオプションのそばに、支払いオプションとして PayPal を表示します。**
既存の支払方法の選択肢に [PayPal ラジオボタン](#)を追加すると、買い手は、よりわかりやすい方法で支払いオプションを把握できます。

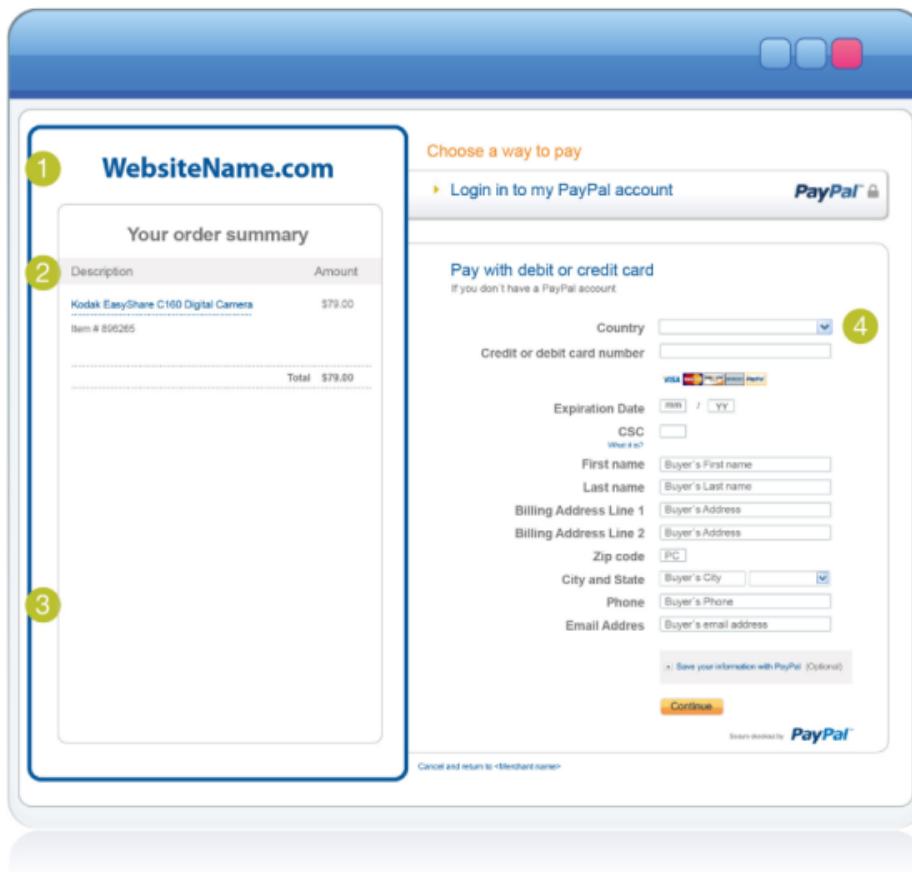


4. **PayPal のバナーやボタンを使用したり PayPal を配置したりする場合は、[\[PayPal とは\]](#) リンクを表示します。**
PayPal について説明すると、初めての買い手は PayPal を選択するメリットを理解できます。
5. **お店のロゴと名前を PayPal ログインおよび確認ページに渡します。** お店のロゴと名前を PayPal 支払いページに表示すると、買い手は、よりシームレスにページを移動し、EC サイトの購入プロセス内にいるということで安心して手続きを進めることができます。この機能を設定するには、お使いの PayPal アカウントにログインし、[\[個人設定\]](#) > [\[販売ツール\]](#) > [\[支払い](#)

ページのカスタマイズ]を選択し、新しいページスタイルの追加を選択します。**注:** 支払いページに保護されていない項目が含まれているとのメッセージが買い手のブラウザに表示されないよう、必ずロゴをセキュアなサーバーに格納してください。

6. **商品の内訳と購入合計金額を含む商品の詳細情報を PayPal に渡します。**商品の詳細情報を PayPal に渡すことで、マーチャントの EC サイトから PayPal の支払いフローにシームレスに移動できます。買い手は、最初から最後まで買い物の詳細情報が表示されるので、取引をより安心して進めることができます。
7. PayPal の支払いページを、EC サイトのスタイルに合わせてカスタマイズします。PayPal の支払いページは、カスタマイズしてマーチャントの EC サイトのスタイルに合わせることができますので、買い手にシームレスな支払い手続き画面を表示することができます。カスタムページの色を選択したり、画像を追加したりして、PayPal の支払いフローをカスタマイズできます。PayPal 支払いページをカスタマイズするには、PayPal アカウントにログインし、[個人設定]、[販売ツール]の順に選択し、[オンライン販売]セクションで[支払いページのカスタマイズ]を選択します。詳しい手順は、[PayPal のカスタム支払いページガイド](#)を参照してください。
8. **収集した顧客情報を PayPal に渡し、請求情報を自動入力します。**マーチャントの EC サイトで買い手の顧客情報を収集する場合は、その情報を PayPal に渡して、対応する顧客情報フィールドに自動入力できます。これにより、買い手は、時間を節約し、情報を再入力する手間が省けます。
9. **クレジットカード利用明細書に表示される名前を設定します。**事業者名またはウェブサイト名が買い手のクレジットカード利用明細書に表示されるよう正しく設定し、顧客の混乱と、チャージバックの発生を防いでください。クレジットカード利用明細書に表示される名前を設定するには、PayPal アカウントにログインし、[個人設定]、[販売ツール]の順に選択し、[オンライン販売]セクションで[クレジットカード利用明細書に表示される名前]を選択します。クレジットカード利用明細書に表示される名前を設定するには、PayPal アカウントにログインし、[個人設定]、[販売ツール]の順に選択し、[オンライン販売]セクションで[クレジットカード利用明細書に表示される名前]を選択します。

PayPal の支払いページをカスタマイズして、買い手にシームレスな支払い手続き画面を表示することができます。必ず以下の作業を行ってください。



1. お店のロゴと名前を PayPal に渡して表示します。

2. 商品の内訳と合計金額を含むすべての商品の詳細情報を渡します。

3. マーチャントの EC サイトに合わせて色をカスタマイズします。

4. 請求先フィールドに、マーチャントの EC サイトで収集された顧客情報を自動入力します。

実装のユースケース

エクスプレス チェックアウトを実装するには、PayPal ボタンを設定し、提供する支払いタイプに適した API をコールします。買い手がお客さまの EC サイトで支払いを開始した後、買い手が支払方法として PayPal を選択できるようにする必要があります。つまり、少なくとも支払いフローの以下の 2 ヶ所で、お客さまの EC サイトで PayPal を提示する必要があります。

- ショッピングカートページの支払いオプションとして
- 支払い方法ページの支払いオプションとして

エクスプレス チェックアウトボタンと PayPal マークの入手

PayPal では、EC サイトに配置するボタンおよび画像を提供しています。エクスプレス チェックアウトを実装するには、以下のことを行う必要があります。

1. ショッピングカートページに以下のボタンを配置します。支払いボタンを作成するには、PayPal アカウントにログインし、[\[決済サービス\]タブ](#)に移動します。ボタンの作成後、ボタンの HTML コードをご自分の EC サイトにコピーします。



2. ラジオボタンを使用して、支払いオプションページの支払いの選択肢として PayPal を提供します。[こちら](#)で、お客さまの EC サイトにコピーして貼り付ける html コードをご覧ください。



3. 「PayPal とは」という語を、エクスプレス チェックアウトのショートカットボタン、支払いオプションページの PayPal マーク、および PayPal バナー/メッセージの横に追加します。[こちら](#)で、お客さまの EC サイトにコピーして貼り付ける html コードをご覧ください。

ユースケース 1: 販売取引

以下の実装ユースケースでは、単純なエクスプレス チェックアウトフローの設定の基本を中心に説明します。定期支払い(購読)の設定方法、リファレンストランザクション、モバイルおよびデジタルコンテンツ向けのエクスプレス チェックアウトの実装を含む、その他の高度な機能については、[エクスプレス チェックアウト インテグレーション ガイド](#)をご覧ください。

もっともシンプルなエクスプレス チェックアウトの実装を行うには、支払いアクションに `Sale` を指定します。これによりただちに支払いの受け取りが可能になります。支払いの後日回収を設定したり、支払いを返金したりすることもできます。

もっともシンプルなエクスプレス チェックアウトのインテグレーションでは、次の PayPal API オペレーションが必要です。

- `SetExpressCheckout`
- `GetExpressCheckoutDetails` (オプション)
- `DoExpressCheckoutPayment`

エクスプレス チェックアウトによる取引の設定

エクスプレス チェックアウトの取引を設定するには、`SetExpressCheckout` API オペレーションを呼び出して、支払いフローを開始するために十分な情報を提供する必要があります。オペレーションが成功したら PayPal にリダイレクトします。

注: ここでは、PayPal サーバーとの通信に使用するしくみが設定済みで、PayPal ビジネスアカウントおよび API 信用証明書があるものとします。また、支払いアクションは最終的な販売とします。

エクスプレス チェックアウト取引を設定する場合、`SetExpressCheckout` リクエストの値を指定し、次に API をコールします。指定する値によって、PayPal のページフローおよび買い手が利用できるオプションを制御します。まず標準のエクスプレス チェックアウト取引を設定し、追加オプションを含めるように変更してください。

もっとも簡単なエクスプレス チェックアウト取引を設定するには

- 取引の金額を指定します。通貨が US ドル以外の場合は、通貨も指定します。
- 取引の合計金額がわかっている場合は合計金額を指定します。それ以外の場合は小計を指定します。
- ほとんどの通貨の場合、小数点の右側は **2 桁**、左側はオプションで 3 桁ずつ、コンマで区切ります。小数点を使用しない通貨についての情報は、PayPal の [Currency Codes\(通貨コード\)](#) ページをご覧ください。

たとえば、2,000.00 ユーロは 2000.00 または 2,000.00 と指定します。使用する通貨に関係なく、指定金額は 10,000.00 US ドルを超えることはできません。

```
PAYMENTREQUEST_0_AMT=amount
```

```
PAYMENTREQUEST_0_CURRENCYCODE=currencyID
```

```
復帰 URL を指定します。
```

- 復帰 URL は、買い手が PayPal にログインして支払いを承認した後、PayPal が買い手のブラウザをリダイレクトする、お客さまの EC サイトのページです。通常、お客さまの EC サイトのセキュアなページ(https://...)です。

注: 復帰 URL を使用して、ウェブサイトのページ間でパラメータを引き継ぐことができます。たとえば、`https://www.yourcompany.com/page.html?param=value...` 構文を使用して、復帰 URL を設定し、追加パラメータを指定することができます。

- パラメータは、復帰 URL で指定されたページのリクエストパラメータとして利用できるようになります。

```
RETURNURL=return_url
```

キャンセル URL を指定します

- キャンセル URL は、買い手が支払いを承認しなかった場合に PayPal が買い手のブラウザをリダイレクトするページです。通常、買い手を PayPal にリダイレクトした、マーチャントの EC サイトのセキュアなページ(https://...)です。

- `SetExpressCheckout` リクエストの値を URL のパラメータとして渡し、PayPal がお客さまの EC サイトの URL にリダイレクトした後に必要に応じてこの値を利用できるようにできます。

```
CANCELURL=cancel_url
```

支払いアクションを指定します。

- デフォルトの支払いアクションは Sale ですが、次のいずれかの値を使用して明示的に支払いアクションを指定することを推奨します。

```
PAYMENTREQUEST_0_PAYMENTACTION=Sale
```

```
PAYMENTREQUEST_0_PAYMENTACTION=Authorization
```

```
PAYMENTREQUEST_0_PAYMENTACTION=Order
```

- `SetExpressCheckout` API オペレーションを実行し、エクスプレス チェックアウト取引を設定します。
 - `SetExpressCheckout` API オペレーションに対するレスポンスが成功したこと(`Ack=Success`)をテストします。
 - `SetExpressCheckout` API のコールが成功した場合、買い手のブラウザを PayPal にリダイレクトし、`SetExpressCheckout` レスポンスで返されたトークンを使用して `_express-checkout` コマンドを実行します。

エクスプレス チェックアウトによる取引の詳細の入手

エクスプレス チェックアウト取引についての詳細情報を取得するため、`GetExpressCheckoutDetails` API オペレーションを呼び出します。

注: この例では、買い手が PayPal で取引を確認した後、有効なトークンを使用して PayPal が買い手のブラウザにリダイレクトします。

- `GetExpressCheckoutDetails` API オペレーションの呼び出しは必須ではありませんが、ほとんどのエクスプレス チェックアウトインテグレーションではこのアクションを行って買い手に関する情報を取得します。
- 復帰 URL で指定されたページから `GetExpressCheckoutDetails` API オペレーションを呼び出します。復帰 URL は、`SetExpressCheckout` API へのコールで設定します。
- 通常、リダイレクトが発生するとすぐにこのオペレーションを呼び出し、レスポンスの情報を使用して確認ページの内容を表示します。
- 買い手の配送先住所および支払人 ID を取得するには、買い手のブラウザをお客さまの EC サイトにリダイレクトするときに、PayPal によって返されるトークンを指定します。
- PayPal は、`SetExpressCheckout` API へのコールでお客さまが指定した URL にリダイレクトするときに、token HTTP リクエストパラメータで使用するトークンを返します。

`TOKEN=tokenValue`

- `GetExpressCheckoutDetails` API オペレーションを実行して、買い手に関する情報を取得します。
 - `GetExpressCheckoutDetails` API レスポンスのフィールドにアクセスします。

注: レスポンスで返されるのは、内容が入力されたフィールドのみです。

エクスプレス チェックアウトによる取引の完了

エクスプレス チェックアウト取引を完了するには、`DoExpressCheckoutPayment` API オペレーションを呼び出します。

- **注:** この例では、お客さまが `SetExpressCheckout` API をコールした後、PayPal が有効なトークンを使用してお客さまの EC サイトに買い手のブラウザをリダイレクトします。 `GetExpressCheckoutDetails` API をコールできます。 `DoExpressCDoExpressCheckoutPayment` API をコールする前に、オプションでケースでは、`SetExpressCheckout` API をコールするときに注文の合計金額を設定します。
 - ただし、`DoExpressCheckoutPayment` API をコールする前に金額を変更できます。 `SetExpressCheckout` API.

注: この例はもっとも簡単な `SetExpressCheckout` API をコールするときに合計金額がわからなかった場合は、API をコールするときに復帰 URL で合計金額が指定されています。追加オプションを指定できますが、ここでは追加オプションは使用しません。

- 買い手のブラウザをお客さまの EC サイトにリダイレクトするときに、PayPal によって返されるトークンを指定します。
- PayPal は、`SetExpressCheckout` API へのコールでお客さまが指定した URL にリダイレクトするときに、token HTTP リクエストパラメータで使用するトークンを返します。

TOKEN=tokenValue

- 買い手のブラウザをお客さまの EC サイトにリダイレクトするときに、PayPal によって返される支払人 ID を指定します。
- PayPal は、SetExpressCheckout API へのコールでお客さまが指定した URL にリダイレクトするときに、token HTTP リクエストパラメータで使用する支払人 ID を返します。オプションで、GetExpressCheckoutDetails API をコールすることによって支払人 ID を取得できます。

PAYERID=id

- 配送料金、手数料、および税金を含め、注文金額を指定します。通貨が米ドル以外の場合は通貨も指定します。
- 指定された通貨に関係なく、ほとんどの通貨の場合、小数点の右側は 2 桁で、左側はオプションで 3 桁ずつコンマで区切ります。
 - たとえば、2,000,00 ユーロは 2000.00 または 2,000.00 と指定します。
 - 使用する通貨に関係なく、指定金額は 10,000.00 US ドルを超えることはできません。

注: 円など、一部の通貨は小数点を使用しません。小数点を使用しない通貨については、PayPal の [Currency Codes\(通貨コード\)](#) ページをご覧ください。

PAYMENTREQUEST_0_AMT=amount

PAYMENTREQUEST_0_CURRENCYCODE=currencyID

支払いアクションを指定します。

- デフォルトの支払いアクションは Sale ですが、次のいずれかの値を使用して明示的に支払いアクションを指定することを推奨します。

PAYMENTREQUEST_0_PAYMENTACTION=Sale

PAYMENTREQUEST_0_PAYMENTACTION=Authorization

PAYMENTREQUEST_0_PAYMENTACTION=Order

- DoExpressCheckoutPayment API を実行し、エクスプレス チェックアウトの取引を実行します。
- 取引が正しく完了した場合(Ack=Success)は、API によって返される値を確認します。

ユースケース 2: 承認と回収の取引処理

承認を使用して資金が保留されます。承認を送信し、資金が利用可能かどうか、また資金を 3 日間保留にするかどうかを PayPal に確認します。

最長 29 日間は承認された金額を回収できますが、3 日間だけ資金が保留されます。この 3 日間は引受期間(*honor period*)と呼ばれます。

注: 引受期間は PayPal の機能です。初期設定では 3 日間ですが、最長は 10 日間です。銀行が開始する振替などの自動決済の場合、カード発行銀行または銀行によってこの期間は異なります。

承認の例:

マーチャントは、商品の在庫があることがわかっているが、配送は水曜日と金曜日のみ行います。今日は月曜日です。

月曜日:

マーチャントの EC サイトで、買い手が商品をカートに入れ、PayPal エクスプレス チェックアウト経由で支払いを行います。

- マーチャントでは、`PAYMENTACTION` を `Authorization` に設定します。`SetExpressCheckout` と `DoExpressCheckoutPayment` の両 API コールで、できます。ここまで、取引は成功です。

水曜日:

商品を発送します。

- 発送の前に、`DoCapture` API コールにより支払いを回収します。
- 回収する金額と承認 ID を PayPal に送信すると、実際の資金が顧客の資金源から PayPal アカウントに移動します。

PayPal から返ってきた `Success` を確認し、商品を発送します。

注: 当初の承認を下回る金額、承認した全額、当初の承認を上回る金額(当初の承認の最高 115%、または \$75 USD を超える金額のいずれか少ない金額)を回収することができます。

ユースケース 3: 返金/取り消し

`RefundTransaction` API を使用して、支払いの回収により作成された取引など、取引に関連する返金を発行します。取引は、PayPal によって支払いの回収時に割り当てられる取引 ID で識別されます。

- `RefundTransaction` PayPal API オペレーションを使用すると、返金を発行できます。

注: 取引が返金期間の経過後に発生した場合、返金はできません。通常、返金期間は 60 日です。60 日後に返金を行う必要がある場合は、代わりに買い手の PayPal アカウントにクレジットが発行される必要があります。

- 返金額の上限は、元の取引の合計金額です。
 - 全額返金が指定された場合は、全額が返金されます。

- 一部返金が指定された場合、返金額、通貨、および返金の説明、つまりメモが指定される必要があります。
- `RefundTransaction` API をコールすると、PayPal は(元の取引ではなく)返金に関連付けられた別の取引 ID および返金に関する追加情報を使用して応答します。

次の情報が含まれます。

- 買い手に返金される金額の合計。
- 元の取引手数料に関連付けられた返金で、お客さまに返金される金額。
- お客さまの残高から差し引かれる返金の正味金額。

- 返金を実行するには
 - `RefundTransaction` リクエストで、返金する元の取引の取引 ID を指定します。

```
TRANSACTIONID = transaction_id
```

- 返金の種類、`Full` (全額)または `Partial` (一部)を指定します。

```
REFUNDTYPE=Full
```

または

```
REFUNDTYPE=Partial
```

- 一部返金の場合は、返金額および通貨を指定します。

```
AMT=amount
```

```
CURRENCYCODE=currencyID
```

- 一部返金の場合は、備考の記述を指定します。

```
NOTE=description
```

- `RefundTransaction` オペレーションを実行します。
 - `RefundTransaction` レスポンスで確認ステータスをチェックし、オペレーションが正しく実行されたこと (`Ack=Success`)を確認します。
-

レスポンスコードの管理

各 PayPal API から返される可能性のあるエラーコードは、[API エラーコード](#)のオンラインリストで参照できます。

- エラーメッセージは、API によって発生します。
- このリストには、各エラーについて、短文メッセージと長文メッセージ、考えられる適切な対処方法が記載されています。

実装のテスト

実装をテストするため、PayPal では Sandbox を提供していますので、これを使用して、本稼働させる前に実装が適切に機能していることを確認できます。Sandbox は、実際の決済が行われない点を除いて PayPal の本番環境とまったく同じです。この環境を使用するには、Sandbox アカウントの登録が必要です。詳しい情報および Sandbox アカウントの登録は、[PayPal Sandbox ガイド](#)をご覧ください。

注: PayPal デベロッパーサイトでは、お使いの PayPal アカウントで <https://developer.paypal.com> に初めてログインした際に、自動的に Sandbox の信用証明書が作成されます。

エクスプレス チェックアウトの実装の実稼働

PayPal Sandbox でのアプリケーションのテストが完了すると、本番環境に移行し、以下のチェックリストを使って本番移行の手順に抜けている箇所がないことを確認できるようになります。詳細については、[本稼働に関する資料](#)をご覧ください。

1. 本番環境の PayPal アカウントを作成および設定します。
2. 本番用アカウントの個人設定が Sandbox アカウントの個人設定と一致していること、違いがある場合は違いを把握していることを確認してください。
3. 本番環境の PayPal アカウントの信用証明書を設定します。API 信用証明書はアカウントに関連付けられます。このため、本番環境の信用証明書は、Sandbox の信用証明書とは異なります。本番アカウント用に、別の署名を入手するか別の証明書をダウンロードする必要があります。
4. アプリケーションで PayPal SDK が使用されている場合は、本番用アカウントの詳細情報を含む API Profile オブジェクトを作成してください。"environment"フィールドで本番を指定する必要があります。証明書を使用している場合は、本番用アカウントの API ユーザー名、API パスワード、および本番用 API 証明書を含める必要があります。
5. お客さまのファイアウォールまたはその他のネットワーク機器で必要な信頼された IP アドレスのリストに、PayPal の IP アドレスを追加します。PayPal IP アドレスの最新リストは、[こちら](#)からご覧になれます。

サンプルコード

お使いのインターフェース

PayPal では、PayPal を実装するための API を提供しています。

PayPal API には、2 種類のインターフェースがあります。開発スタイルや環境に最も合ったものをお使いください。

NVP (Name-Value Pair)インターフェース

リクエストおよびレスポンスは、単純な HTTP を使用して送信されます。このインターフェースは、より軽量でスクリプトベースの開発を好むユーザーに向いています。

SOAP インターフェース

リクエストおよびレスポンスは、SOAP (Simple Object Access Protocol)を使用して送信されます。このインターフェースは、オブジェクト指向の開発を好むユーザーに向いています。

エクスプレス チェックアウトのサンプルコード

下表から、エクスプレス チェックアウトに必要な 3 つの API コールのそれぞれについて、SOAP または NVP のサンプルコードを表示できます。

API コール	サンプルコード
SetExpressCheckout	PHP Java .NET
GetExpressCheckoutDetails	PHP Java .NET
DoExpressCheckoutPayment	PHP Java .NET

SDK の情報は、[マーチャント API の SDK](#) をご覧ください。

参考資料

オンライン参照資料(英語)

[Express Checkout Integration Guide](#)

[NVP API Developer Guide](#)

[API Endpoints](#)

[Digital Goods with Express Checkout Guide](#)

[Name-Value Pair \(NVP\) Interface](#)

[SOAP Interface](#)

[Classic APIs Getting Started Guide](#)

[PayPal SDKs](#)

[PayPal IP Addresses](#)

[PayPal Sandbox Guide](#)